

春の組織拡大月間、1000人突破を！ すべての支部で目標決め、全組合員に呼びかけよう



東京地評拡大出陣式 決意表明する三宅執行委員



CU出陣式 小倉委員長と新組合員・白林さんが握手

春の組織拡大月間始まる

CU東京は3月の執行委員会で春の組織拡大月間を大会の6月11日までに取り組むことを決めました。先に東京地評は4、5月に月間を呼びかけ、加盟組合に「悪政大転換の歴史的な任務を担い、組織の実増・強化を成し遂げ、労働組合出番の時代をつくろう」と訴え、組織の5%、実増の拡大を提起しています。3月18日に拡大出陣式を行い、CU東京は小倉委員長はじめ6人参加、三宅執行委員（三多摩協議会書記長）が決意表明しました。東京地評は春の拡大の方針の中では、地域内の未組織労働者の組織化をめざし、地域ユニオンや「CU東京」支部組織結成のとりくみを呼びかけ、集中的組織宣伝や街頭労働相談など提起しています。CU東京は非正規の労働者の要求とたたかひの前進、安倍暴走政治ストップのたたかひと結び組織拡大にとりくみます。

CU東京は第8回大会6月11日までに1000人組合員をめざします

CU東京は現在、853人、1000人まで147人（現勢比17%）加入が必要です。諸活動と結び拡大をすすめます。労働相談、宣伝、各種行動と結びとりくみます。協力組合員に相談し、対象を上げ具体的にすすめます。すべての支部で労働組合、民主団体、NPO組織との懇談を1団体・組織以上とすすめます。CU東京の共済に関心が寄せられています。三多摩では「会社に福利厚生がない、CU東京の共済はいい」と加入の報告が届いています。案内しましょう。拡大出陣式を3月25日行い、新組合員の白林さんも参加し争議支援を訴え、達成に向け決意を固めあいました。

すべての組合員に声をかけよう

期間は約2か月です。全支部で目標を決めて取り組みます。すべての組合員に声をかけ、組合のリーフをわたし協力をよびかけることが大事です。力のある、経験のある協力組合員に具体的に組合員拡大を訴えましょう。

東京地評拡大出陣式の 三宅執行委員の決意表明

三多摩協議会は、昨年6月に24人でスタート、現在114人。この間、二つのことを訴えてきました。1つは地域の労組の支援が欠かせない点、2つに地域に個人加盟の労働組合が求められている点。労働相談も13件あり9人解決、存在感も高まっています。

現在、200人の組織にしようとして4月は花見で交流、拡大に向け学習決起集会、地域の労組訪問など計画しています。CU東京1000人、三多摩200人達成を目標に奮闘します。

部長のセクハラに危機を感じ毅然と抗議 6か月にわたり監視！そして解雇！

大和ハウス工業とたたかう白林さん

◆ 部長のセクハラに危機を感じ拒絶したら 配置換えをし、6ヶ月にわたる監視！

大和ハウス工業に、2年前の4月に採用された白さんは、入社早々の歓迎会や親睦会などで、上司である部長の横に座らされ、背中を何回も触られたり、「週末に一緒に飲みに行こう」など執拗に食事や自宅に誘われたりすることに危機感を覚え、上司からの誘いを断るようになっていました。すると、その上司は、部下に命令をして6ヶ月にわたり勤務状況を監視させました。

異常な監視の次は、その部長の直ぐそばの席に配置換えをし、直接監視をし続けた上で突然、昨年12月に解雇を通知してきました。

◆ 1級建築士をめざしていた女性の夢を奪う！

白さんは、2年前に国立大学工学部建築学科修士を卒業し、夢と希望を持って大和ハウス工業に就職し、老人ホームや介護施設の企画設計に携わり昨年の10月には、希望していた部署（東京本社建築事業推進部企画開発部医療介護設計グループ）



4/7 大和ハウス工業本社社前での抗議行動

に配属されました。しかし、直後の12月になって、「就業規則に定める解雇事由に該当するとして、平成27年12月31日をもって、解雇する」旨の通知を受けました。白さんは既に2級建築士学科試験を合格、1級建築士の資格を取得するための勉強も重ねてきました。1級建築士の受験資格に企業経験2年を取得する直前の解雇です。

◆ 人権侵害！ 上司によって作り上げられた 規律違反、そして不当解雇！

解雇の理由は、異常な監視体制の下でつくりあげた職場離脱、私用電話、規律違反。あたかも注意指導をして改めなかったと印象づけての解雇です。解雇の理由に全く合理性はなく、言い掛かりをつけて規則違反とする解雇には、社会通念上の相当性を欠くもの、解雇権濫用は明らかです。

女性個人の自宅住所まで記載した解雇通知書を見せしめ的に、職場内にメールでばらまき、「自分の言うことを聞かないとこうなる」ということを、自ら行う上司を擁護する大和ハウス工業です。支援をお願いします。（白林さんは「ユニオンちよだ」に加入の新組合員。「千代田区労連だより」から抜粋、転載させていただきました。）

大和ハウス工業の不当解雇 白林さんCU東京執行委員会で訴える

3月25日CU東京執行委員会で白林（はくりん）さんが大和ハウス工業でセクハラ・パワハラをうけ、さらに不当解雇、「ユニオンちよだ」に加入し、不当解雇とたたかう決意をのべ、支援を訴えました。

4月7日、千代田総行動の一環として大和ハウス工業東京本社前で抗議行動。CU東京から高木書記長が参加、セクハラ・パワハラなど犯罪行為と厳しく批判しました つづいて、本社18階で要請行動12人が参加しすみやかな解決を強く要請しました。



訴えた白さんとユニオンちよだの小林執行委員

コミュニティユニオン 東京 第8回定期大会

[と き] 6月11日(土)
午後1時30分開会
[ところ]ラパスホール

CUかつしか 結成4年目へ 第4回定期総会開催17人の参加 組合員33人に！

組合員が増えることが労働組合の最高の喜びと力 組合員33人！

17人の参加で第4回定期総会開催

「結成して3年。毎年10人ずつ増えてきたかつしか。どうにか30人を達成して第4回の総会を！」。これが、執行部のこの一年の願いでした。その目標を突破しての、結成4年目、4回目の定期総会になりました。

基本の活動を位置づけて

組合員加入促進・・・なかなか厳しい課題ですが、総会が近づくにつれて、新しい仲間の加入申込書が届きはじめました。かつしか支部は、毎月の執行委員会の定例化、毎月の支部ニュースの発行、そのニュースを全員へ郵送か手渡し、必ず、執行部からの一言を書き添えて・・・そんな、活動をずっと続けています。

毎月、近況報告を執行部に送ってくる組合員、CU東京の入院共済で支給を受けての喜びの声を寄せた組合員、郵送のニュースが戻って来てしまった方に電話すると「すみません！連絡しなくて！」と話してくれる組合員など。「辞める方がほとんど出ない。」のもかつしかの良いところです。

自分にとってのCU東京の存在

総会では、「千葉県で農業をはじめます。共済制度のことを考えてCU東京の組合員で。」と、千葉県の九十九里海岸沿いの匝瑳（そうさ）市から参加された組合員。介護職員の職場の低賃金と労働条件厳しさに、短期間で辞めていく方が多いと報告する組合員。退職した元教員の組合員は、人生を振り返りながら、「ひとりでも入れる。何歳になっても労働組合員でいられる。今もその生



CUかつしか第4回定期総会

き方を続けられる。まだ仲間と呼べる人がいて、増える！新しくできる。」・・・そんな、自分にとってのCU東京の存在を話す発言がつづきました。

組合員全員にリーフを渡し拡大を呼びかけ

次期大会までにさらに10人増やすことなどはじめとした方針を確認。当面、組合員全員にリーフを渡して組合員拡大を呼びかけることにしました。

総会後の平山副委員長を講師に学習会・・・「憲法28条の保障する労働3権。国民が誰でも持っている権利。その権利を行使できるのは、その権利行使を法で保障され、認められている労働組合に入り、組合員になったその時から・・・」。

「誰でも入れる労働組合という「受け皿」を、国民に保障し、つくって置く。これが、コミュニティユニオン・CU東京の役割」。ローカルユニオンの地域での大切な役割を学びました。

◀ 選出された新役員 ▶

- ・委員長 野口弘次
- ・副委員長 柳生秀行・菅野勝祐
- ・書記長 岡野健次
- ・書記次長 滝沢敬二・金丸秀義
- ・執行委員 小野寺忠
- ・会計監査 中田淳

第87回メーデー

働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう！

- 2016年5月1日（日）代々木公園 午前10時文化行事、11時式典
- 日曜日です。組合員みんなによびかけ参加しよう！

三多摩メーデー

- ★5月1日（日）家井の頭公園
- ★オープニング 9時30分
- ★式典 10:00
- ★デモ行進 11:50

相談者の意向に沿った問題解決が CU江戸川に所属しつづける大きな理由 早急に100人の組合員めざし頑張る CU江戸川支部

2012年7月の組合員数から毎月人数を減らささい

CU江戸川支部は、2012年7月の組合員数から毎月人数を減らささいできました。一時に大幅に増えるのではなく、毎月少しずつ増え、現在76人です。

CUのみに加入している人は54人で、協力組合員（他組合の組合員、二重加盟の組合員）は22人です。組合員54人のうち15人は共済に加入していません。支部大会（2016年11月19日）以降の加入者9人の加入動機は労働相談からの加入が5人、同僚・友人からのすすめで4人加入です。

相談者の立場と意向に沿った問題解決が脱退減らす

加入が多くありませんが、脱退が少ないことが、組合員数の増加に結び付いています。労働相談で加入した組合員は、問題が解決すると「即脱退」との傾向があるといわれていますが、江戸川支部ではそのようなことは少ないです。何年も前に解決した組合員から連絡を受けたり、遠くに転居しても江戸川支部に所属し続ける例がいくつもあります。労働相談を受けると即対応します。親身に相談に乗り、相談者の立場と意向に沿った問題解決が、CU江戸川に所属し続ける大きな理由だと思っています。

区民や小規模企業経営者等と手を携えて

第二に地域労働組合＝「CU東京」の必要性を認識し、機会あるごとに訴え続けています。地域での労働運動は、労働者の相談にのり労働者の駆け込み寺としての役割を果たすだけでなく、今の政治のもとで、厳しい状況に置かれている区民や小規模企業経営者等と手を携えて、問題解決にあたり、地域を活性化させていくこともCU東京の役割です。ということなど訴えて共済に加入しない組合員や協力組合員を増やしています。また、共済制度の魅力を訴えることで、組合加入を決意する人も多くいます。

小さな支部ですが早急に100人の組合を目指して頑張ります



4/12区労連の仲間と駅頭宣伝 CU江戸川支部

第46回社保協総会開かれる CU東京を新しい加入団体として紹介



方針を提案する寺川事務局長

3月20日、東京社保協の第46回総会が開かれました。22団体34地域から155人が参加しました。総会は1年間の取り組みの

総括と「安全・安心の医療・介護の大改悪、社会保障解体攻撃をストップさせよう」をスローガンとした方針を確認。方針の柱の一つに「安定した雇用暮らしが守れる賃金を」として、解雇の金銭解決制度の導入や国際戦略特区による労働規制緩和なども見過ごせないとし、働くルールと暮らしを破壊する安

倍「雇用改革」の阻止を提起しました。

討論の最初にCU東京は新加盟団体として高木書記長があいさつしました。ローカルユニオンとしてCU東京の役割、非正規で働く人が4割を超え、求められている組合と自己紹介、参加団体のみなさんと共同して働く人の相談と、雇用・賃金を守る活動に奮闘していきたいと挨拶しました。同総会には、CU東京から寺川副委員長と2人が参加しました。大会後、呼びかけに応え、「協力していきたい」と組合に1人加入しました。

■毎月「こみゅーと」に支部に原稿をお願いしています。相談、争議、加入、宣伝、レクリエーションなど支部の組合員の奮闘なくしてありません。感謝！■全員に配りたい、支援してくれる組合・団体にも届きたいの「声」に応え、3月から1000部印刷です。組合員の声をお願いします。HPでバックナンバー読めます。